

「放課後子供教室推進事業」の概要について

1 趣旨

全ての子供を対象として、放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用し、安全・安心な子供の活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得て、子供たちに勉強やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の機会を提供することにより、子供たちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。

また、土曜日等において社会人や企業の参画を得て、土曜日ならではの多様なプログラムを子供たちに提供し、教育支援体制の構築を図るとともに、未来を担う子供たちを健やかに育むため、地域の人材を活用し、学習が遅れがちな中学生等に対して学習支援を行う。

2 内容

(1) 指導者研修等の実施（県）

- 推進委員会・担当者会議の設置
 - ・実施方針の検討及び事業実施後の検証、市町村間の意見交流
- 放課後子供教室研修会の実施
 - ・コーディネーター等の資質向上や情報交換・共有を図るための研修を実施
- 市町村が実施する「放課後子供教室」「土曜日の教育支援」「中学生学力アップ教室」への支援
 - ・市町村への補助金の交付、各種会議等による情報提供

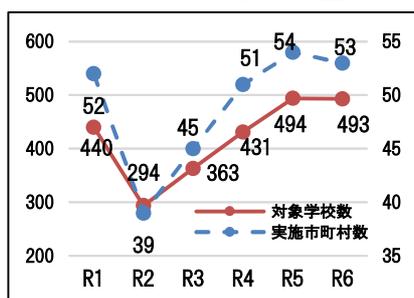
(2) 「放課後子供教室」「土曜日の教育支援」「中学生学力アップ教室」の実施（市町村）

- 「放課後子供教室」の実施
 - ・スポーツ・文化活動等の様々な体験活動や地域住民との交流活動等の取組を実施
 - ・放課後児童クラブとの連携促進
- 「土曜日の教育支援」の実施
 - ・土曜教育推進員やボランティアを配置し、体系的・継続的なプログラムを実施
- 「中学生学力アップ教室」の実施
 - ・学習支援員やボランティアを配置し、中学生を対象とした学習支援を実施
- 運営委員会の設置
- コーディネーター等の配置

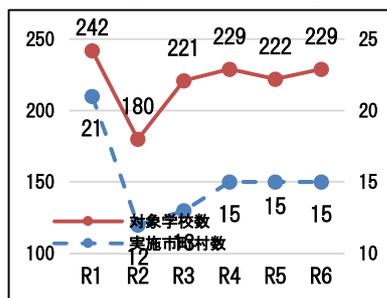
3 実施状況等

(1) 実施状況

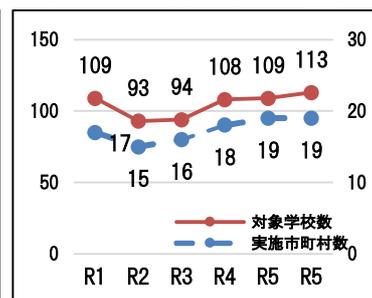
【放課後子供教室】



【土曜日の教育支援】



【中学生学力アップ教室】



(2) 令和6年度実施市町村及び対象学校数

ア 放課後子供教室

○実施市町村：53市町村、対象学校数：493校

○補助対象市町村：46市町村、補助対象学校数：359校

○中核・単独市町：7市町、対象学校数：134校

南部地区			西部地区			北部地区			東部地区		
市町村名	教室数	対象学校数	市町村名	教室数	対象学校数	市町村名	教室数	対象学校数	市町村名	教室数	対象学校数
鴻巣市	17	17	所沢市	11	11	熊谷市	27	27	行田市	9	10
上尾市	2	2	飯能市	2	2	本庄市	6	6	春日部市	17	17
草加市	21	21	東松山市	11	11	深谷市	6	19	羽生市	5	5
蕨市	7	7	狭山市	12	14	横瀬町	1	1	久喜市	21	21
戸田市	10	10	入間市	16	16	長瀨町	1	1	三郷市	4	4
朝霞市	6	10	富士見市	10	10	小鹿野町	4	4	蓮田市	4	4
志木市	8	8	鶴ヶ島市	28	8	上里町	6	5	吉川市	1	1
和光市	9	9	日高市	6	6				白岡市	3	3
新座市	17	17	ふじみ野市	14	13				杉戸町	1	1
桶川市	7	7	毛呂山町	4	4				松伏町	1	1
北本市	7	7	滑川町	1	1				加須市	5	22
川口市	44	52	嵐山町	1	3				越谷市	17	29
伊奈町	1	4	小川町	5	5				八潮市	6	6
			川島町	4	4				幸手市	3	3
			吉見町	2	2						
			鳩山町	2	2						
			ときがわ町	1	1						
			東秩父村	1	1						
			川越市	18	18						
13市町	156	171	19市町村	149	132	7市町	51	63	14市町	97	127

イ 土曜日の教育支援

○実施市町：15市町、対象学校数：229校

○補助対象市町：11市町、補助対象学校数：187校

○中核・単独市町：4市町、対象学校数：42校

南部地区			西部地区			北部地区			東部地区		
市町村名	教室数	対象学校数	市町村名	教室数	対象学校数	市町村名	教室数	対象学校数	市町村名	教室数	対象学校数
上尾市	25	33	坂戸市	13	12	熊谷市	15	44	三郷市	1	26
蕨市	7	7	越生町	2	2	深谷市	19	19	八潮市	14	15
朝霞市	6	10	滑川町	6	3	寄居町	1	6			
新座市	28	17	ときがわ町	1	3						
北本市	11	11									
草加市	21	21									
7市町	98	99	4市町	22	20	3市町	35	69	1市	15	41

ウ 中学生学力アップ教室

○実施市町：19市町、対象学校数：113校

○補助対象市町：12市町、補助対象学校数：66校

○単独・中核市町：7市町、対象学校数：47校

南部地区			西部地区			北部地区			東部地区		
市町村名	教室数	対象学校数									
北本市	2	4	毛呂山町	2	2	熊谷市	16	16	加須市	5	8
川口市	20	20				秩父市	2	8	久喜市	10	10
草加市	11	11				深谷市	10	10	八潮市	3	5
志木市	4	4				長瀬町	1	1			
和光市	3	3				小鹿野町	7	1			
伊奈町	2	3				神川町	1	1			
						上里町	1	2			
						寄居町	1	3			
						美里町	1	1			
6市町	42	45	1町	2	2	9市町	40	43	3市町	18	23

※1 政令指定都市（さいたま市）を除く。

※2 網掛け：中核市及び県の補助を受けずに単独事業として実施している市町。

※3 「対象学校数」とは、各事業に参加可能な子供が在籍する学校の数を表す。

(3) 「放課後子供教室」と「放課後児童クラブ」の連携

	実施教室数	連携型教室数	割合 (%)	校内交流型教室数	割合 (%)
令和2年度	302教室	228教室	75.5%	187教室	61.9%
令和3年度	349教室	296教室	84.8%	243教室	69.6%
令和4年度	404教室	350教室	86.6%	284教室	70.3%
令和5年度	454教室	364教室	80.2%	304教室	67.0%
令和6年度	453教室	393教室	86.8%	315教室	69.5%

※1 連携型：放課後子供教室及び放課後児童クラブが連携して、共働き家庭等の児童を含めた全ての児童が放課後子供教室の活動プログラムに参加し、交流できるもの。

※2 校内交流型：「連携型」のうち、同一小学校内等で放課後子供教室及び放課後児童クラブを実施しているもの。

(新・放課後子ども総合プランにおいては「一体型」としてきたが、放課後児童対策パッケージにおいては、「校内交流型」と呼ぶ。)

(4) 成果

○子供たちに関する成果

- ・多様な体験や経験が増加した。
- ・地域住民とのつながりが強まった。

○家庭・地域に関する成果

- ・保護者や地域の方の「生きがい」や「やりがい」などにつながった。
- ・地域で子供を育てる意識が向上した。

(4) 課題

- ・「コーディネーター」や「サポーター」等の人材確保。
- ・運営のための予算確保。

令和6年度「放課後子供教室推進事業」実施状況調査結果(概要)

令和7年3月31日現在

1 「放課後子供教室」実施市町村数・教室数・対象学校数（※さいたま市を除く）

実施市町村 53市町村 教室数 453教室 対象学校数 493校

2 「コーディネーター」や「サポーター」等について

教室の活動に携わるスタッフの実人数		7,961人
コーディネーター等の人数	地域学校協働活動推進員	209人
	コーディネーター	561人
1教室あたりの1日のスタッフ数の平均		7.6人

3 参加児童について

登録児童数	45,732人
延べ参加人数	614,984人

4 連携・協働している団体等



※ 項目記載以外のものは「その他」に計上。

5 子供たちの意見を教室運営に反映するなど、参加している子供たちが思いや意見を表明する機会を設けているか

	教室数	割合 (%)
表明する機会を設けている。	291	64.2%

6 「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働活動」の一体的推進について

	教室数	割合 (%)
「コミュニティ・スクール（学校運営協議会）」の協議を経て、「放課後子供教室」の活動を展開している。	34	7.5%
「コミュニティ・スクール（学校運営協議会）」の委員になっている。	132	29.1%

7 「地域で子供を育てる意識が向上した。」

教室数	割合 (%)
278	61.4%

令和6年度「放課後子供教室推進事業」実施状況調査

1 運営について

選択肢	回答教室数	割合
市町村による運営	322	71.1%
運営を委託している	131	28.9%

2 「コーディネーター」や「サポーター」等について

選択肢	回答人数
教室の活動に携わる方の実人数の合計	7,961
地域学校協働活動推進員（統括的な地域学校協働活動推進員を含む） ※社会教育法第9条の7に基づき、教育委員会が委嘱した者	209
放課後コーディネーター（統括的な放課後コーディネーターを含む） ※社会教育法第9条の7に基づき、教育委員会が委嘱をしていない場合は、コーディネーターとして計上	561
1教室あたりの1日のスタッフ数の平均	7.6

3 「放課後コーディネーター」や「放課後活動リーダー」等の募集方法について

(複数回答あり)

選択肢	回答教室数	割合
学校から通知（チラシ・便り・広報紙等含む）を发出し募集	158	34.9%
既に活動している「コーディネーター」や「サポーター」等を通して募集	374	82.6%
市町村の広報誌やホームページに募集記事等を掲載	237	52.3%
地域団体等への訪問、電話による募集	65	14.3%
P T Aの諸活動を通して募集	125	27.6%
入学説明会や保護者会で説明（口頭・PRビデオ等）して募集	99	21.9%
大学と連携して募集	55	12.1%
地域の回覧板で募集について周知	72	15.9%
公民館等の外部の施設に募集の案内等を置いてもらう。	108	23.8%
電子メール配信により募集について周知	118	26.0%
その他	19	4.2%

4 放課後子供教室に参加する子供の人数について

選択肢	回答人数
登録している子供たちの人数	45,723
参加した子供たちの延べ人数	614,984

5 連携・協働した団体・組織・人材等について

(複数回答あり)

選択肢	回答教室数	割合
N P O	91	20.0%
中学校・高校・大学・研究機関等	124	27.4%
民間教育事業者	68	15.0%
文化団体・サークル等	205	45.3%
スポーツ関係団体（プロスポーツチームとの連携・協働含む）	116	25.6%
商店・企業・経済団体	55	12.1%
農業関係者・団体	48	10.6%
公民館、社会教育関係団体	145	32.0%
児童館・福祉関係団体	84	18.5%
行政関係機関（放課後子供教室所管課以外の課所）	119	26.3%
アスポート事業	0	0.0%
こども食堂	17	3.8%
特別なスキルを有した地域人材	202	44.6%
「放課後子供教室」の活動としては、外部の団体・組織・人材等との連携・協働は行っていない。	62	13.7%
その他	42	9.3%

6 日常的に活動する場所について

(複数回答あり)

選択肢	回答教室数	割合
学校の専用スペース（放課後子供教室としての専用の教室）	105	23.2%
学校の特別教室・体育館・校庭	410	90.5%
公民館	55	12.1%
児童館	0	0.0%
図書館	1	0.2%
その他	14	3.1%

7 子供たちの意見を教室運営に反映するなど、参加している子供たちが思いや意見を表明する機会を設けているか

選択肢	回答教室数	割合
表明する機会を設けている。	291	64.2%
表明する機会を設けていない。	162	35.8%

8 コミュニティ・スクール(学校運営協議会)を活かした取組について

選択肢	回答教室数	割合
「コミュニティ・スクール(学校運営協議会)」の協議を経て、「放課後子供教室」の活動を展開している。	34	7.5%
「コミュニティ・スクール(学校運営協議会)」と関連して活動を行っていない。	419	92.5%

9 「放課後子供教室」のコーディネーター等がコミュニティ・スクール(学校運営協議会)の委員になっているか

選択肢	回答教室数	割合
「コミュニティ・スクール(学校運営協議会)」の委員になっている。	132	29.1%
「コミュニティ・スクール(学校運営協議会)」の委員になっていない。	321	70.9%

10 放課後児童クラブと連携を推進する上で、「課題」として考えられること

(複数回答あり)

選択肢	回答教室数	割合
放課後児童クラブ関係者との連携調整	224	49.4%
学校との連携	175	38.6%
場所の確保	123	27.1%
放課後子供教室のスタッフ不足	221	48.8%
運営上の予算確保	110	24.3%
参加児童の把握	67	14.8%
放課後児童クラブへの児童引き渡し	109	24.1%
その他	7	1.5%

11 「放課後子供教室」の活動について、「成果」として考えられること

(複数回答あり)

選択肢	回答教室数	割合
専門的な学習につながった。	70	14.5%
子供の学習意欲が向上した。	146	32.2%
子供の学力や体力が向上した。	102	22.5%
子供のコミュニケーション能力が向上した。	268	59.2%
子供の多様な体験や経験が増加した。	386	85.2%
子供の地域への愛着、理解・関心が深まった。	167	36.9%
子供と地域住民のつながりが強まった。	316	69.8%
子供の安心・安全が確保できた。	279	61.6%
不登校やいじめなど生徒指導上の課題が減少した。	23	5.1%
その他	0	0.0%

12 家庭・地域との連携という視点から「成果」として考えられること

(複数回答あり)

選択肢	回答教室数	割合
保護者や地域の方の「生きがい」や「やりがい」などにつながった。	299	66.0%
子供が地域の行事に積極的に参加するようになった。	76	16.8%
地域で子供を育てる意識が向上した。	278	61.4%
地域コミュニティが活性化した。	180	39.7%
その他	1	0.2%

13 「放課後子供教室」について、「課題」として考えられること

(複数回答あり)

選択肢	回答教室数	割合
「コーディネーター」や「サポーター」等を集めること(人材確保)	356	78.6%
打合せや調整時間の確保	110	24.3%
放課後子供教室の内容を充実させること	247	54.5%
「コーディネーター」や「サポーター」等の力量や意欲を高めること	138	30.5%
運営のための予算確保	262	57.8%
教職員の理解や協力を得ること	181	40.0%
P T Aや保護者の理解や協力を得ること	134	29.6%
地域の方の理解や協力を得ること	163	36.0%
使用する専用の場所の確保	221	48.8%
企画・運営等での検討(活動ルールの作成等)	86	19.0%
参考事例となる情報やノウハウ・ツールの不足	68	15.0%
課題として考えられることはない	1	0.2%
その他	28	6.2%